

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 ([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

## debug netdr

NetDriver アクティビティをデバッグするには、**debug netdr** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug netdr {all | data | error}
```

```
no debug netdr {all | data | error}
```

### 構文の説明

<b>all</b>	すべての NetDriver アクティビティをデバッグします。
<b>data</b>	NetDriver データ フローをデバッグします。
<b>error</b>	NetDriver エラーをデバッグします。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.0(7)XE	Cisco 7600 シリーズ ルータでこのコマンドがサポートされるようになりました。
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータにおけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

### 例

次の例では、NetDriver データ フローをデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr data
NetDriver Receive Data on interrupt debugging is on
NetDriver Receive Data debugging is on
```

```

NetDriver Transmit Data debugging is on
NetDriver Relay Data debugging is on
Router#
2d21h: const_ether_vlan_vencap() Vlan1:
2d21h:   src_vlan=0x1  src_indx=0x3  len=0xE9  bpdu=0
2d21h:   index_dir=0  dest_indx=0x0  dont_lrn=0
2d21h:   Dbus hdr:  00000000 00010000 00030000 E9000000
2d21h:             00000000 00000000 00000000 00000000
2d21h:   MAC hdr:  dmac=00801C.938040, smac=00503E.8D6400, typelen=0800
2d21h:   IP hdr:  45C000DB 02F30000 FF066331 AC143412 AB45C8CC
2d21h: fxl1000_process_receive_packet() Vlan1:
2d21h:   src_vlan=0x1  src_indx=0x108  len=0x40  bpdu=0
2d21h:   index_dir=0  dest_indx=0x3  dont_lrn=0
2d21h:   Dbus hdr:  60000000 00010000 01080000 40100000
2d21h:             0006AC14 3412AB45 C8CC0000 00030000
2d21h:   MAC hdr:  dmac=00503E.8D6400, smac=00605C.865B28, typelen=0800
2d21h:   IP hdr:  45000028 B5254000 7D06F471 AB45C8CC AC143412
<... output truncated ...>
Router#

```

関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	NetDriver を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャ バッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr capture

NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug netdr capture [and-filter [destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}] | dmac mac-addr |
dstindex index-value | ethertype ethertype | interface interface | smac smac |
source-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr} | srcindex index-value | vlan vlan-num]
```

```
no debug netdr capture [and-filter [destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}] | dmac
mac-addr | dstindex index-value | ethertype ethertype | interface interface | smac smac |
source-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr} | srcindex index-value | vlan vlan-num]
```

## 構文の説明

<b>and-filter</b>	(任意) フィルタを適用します。
<b>destination-ip-address</b>	(任意) 宛先 IP アドレスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<i>ipaddr</i>	特定の宛先 IP アドレスへのパケットをキャプチャします。
<b>ipv6 ipaddr</b>	IPv6 宛先 IP アドレスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<b>dmac mac-addr</b>	(任意) 宛先 MAC アドレス インデックスと一致するパケットをキャプチャします。
<b>dstindex index-value</b>	(任意) 宛先インデックスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 1048575 です。
<b>ethertype ethertype</b>	(任意) ethertype に一致するすべてのパケットをキャプチャします。ethertype は 16 進形式で入力する必要があります。
<b>interface interface</b>	(任意) インターフェイスに関連するパケットをキャプチャします。「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>smac smac</b>	(任意) 送信元 MAC アドレスと一致するパケットをキャプチャします。smac は 16 進形式で入力する必要があります。
<b>source-ip-address</b>	(任意) 送信元 IP アドレスと一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<b>srcindex index-value</b>	(任意) 送信元インデックスと一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 1048575 です。
<b>vlan vlan-num</b>	(任意) VLAN 番号と一致するパケットをキャプチャします。有効な VLAN 番号は 0 ~ 4095 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

**使用上のガイドライン**

次のインターフェイス タイプを使用できます。

- Async
- 自動テンプレート
- CTunnel
- ダイアラ
- EsconPhy
- Fcpa
- フィルタ
- Filtergroup
- GMPLS
- GigabitEthernet
- Group-Async
- LISP
- LongReachEthernet
- ループバック
- Lspvif
- MFR
- マルチリンク
- ヌル
- ポート チャンネル
- Sysclock
- TenGigabitEthernet
- トンネル
- Vif
- 仮想イーサネット
- 仮想テンプレート
- 仮想トークンリング
- VLAN
- VoaBypassIn
- VoaBypassOut
- VoaFilterIn
- VoaFilterOut
- VoaIn
- VoaOut

**例**

次の例では、NetDriver をデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr capture
```

```
Router#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャバッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr capture and-filter

NetDriver キャプチャ アクティビティを **and** 機能を使用してデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture and-filter** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug netdr capture and-filter [destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}| dmac mac-addr |
dstindex index-value | ethertype ethertype | interface interface | smac smac |
source-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}| srcindex index-value | vlan vlan-num]
```

```
no debug netdr capture and-filter [destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}| dmac
mac-addr | dstindex index-value | ethertype ethertype | interface interface | smac smac |
source-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}| srcindex index-value | vlan vlan-num]
```

## 構文の説明

<b>destination-ip-address</b>	(任意) 宛先 IP アドレスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<i>ipaddr</i>	特定の宛先 IP アドレスへのパケットをキャプチャします。
<b>ipv6 ipaddr</b>	IPv6 宛先 IP アドレスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<b>dmac mac-addr</b>	(任意) 宛先 MAC アドレス インデックスと一致するパケットをキャプチャします。
<b>dstindex index-value</b>	(任意) 宛先インデックスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 1048575 です。
<b>ethertype ethertype</b>	(任意) ethertype に一致するすべてのパケットをキャプチャします。ethertype は 16 進形式で入力する必要があります。
<b>interface interface</b>	(任意) インターフェイスに関連するパケットをキャプチャします。「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>smac smac</b>	(任意) 送信元 MAC アドレスと一致するパケットをキャプチャします。smac は 16 進形式で入力する必要があります。
<b>source-ip-address</b>	(任意) 送信元 IP アドレスと一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<b>srcindex index-value</b>	(任意) 送信元インデックスと一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 1048575 です。
<b>vlan vlan-num</b>	(任意) VLAN 番号と一致するパケットをキャプチャします。有効な VLAN 番号は 0 ~ 4095 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## 使用上のガイドライン

次のインターフェイス タイプを使用できます。

- Async
- 自動テンプレート
- CTunnel
- ダイアラ
- EsconPhy
- Fcpa
- フィルタ
- Filtergroup
- GMPLS
- GigabitEthernet
- Group-Async
- LISP
- LongReachEthernet
- ループバック
- Lspvif
- MFR
- マルチリンク
- ヌル
- ポート チャンネル
- Sysclock
- TenGigabitEthernet
- トンネル
- Vif
- 仮想イーサネット
- 仮想テンプレート
- 仮想トークンリング
- VLAN
- VoaBypassIn
- VoaBypassOut
- VoaFilterIn
- VoaFilterOut
- VoaIn
- VoaOut

**例**

次の例では、NetDriver をデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr capture
```

```
Router#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャ バッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。



# debug netdr capture continuous

NetDriver キャプチャのアクティビティを継続的にデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture continuous** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug netdr capture continuous [and-filter | destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}|
dmac mac-addr | dstindex index-value | ethertype ethertype | interface interface | or-filter
[destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}| dmac mac-addr | dstindex index-value |
ethertype ethertype | interface interface | smac smac | source-ip-address {ipaddr | ipv6
ipaddr} | srcindex index-value | vlan vlan-num] | rx [and-filter | destination-ip-address
{ipaddr | ipv6 ipaddr}| dmac mac-addr | dti-type value | dti-value value | dstindex index-value
| ethertype ethertype | interface interface | or-filter [destination-ip-address {ipaddr | ipv6
ipaddr}| dmac mac-addr | dstindex index-value | ethertype ethertype | interface interface |
smac smac | source-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr} | srcindex index-value | vlan vlan-num]
| smac smac | source-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr} | srcindex index-value | vlan vlan-num]
```

```
no debug netdr capture continuous [and-filter | destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}|
dmac mac-addr | dstindex index-value | ethertype ethertype | interface interface | or-filter
[destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}| dmac mac-addr | dstindex index-value |
ethertype ethertype | interface interface | smac smac | source-ip-address {ipaddr | ipv6
ipaddr} | srcindex index-value | vlan vlan-num] | rx [and-filter | destination-ip-address
{ipaddr | ipv6 ipaddr}| dmac mac-addr | dti-type value | dti-value value | dstindex index-value
| ethertype ethertype | interface interface | or-filter [destination-ip-address {ipaddr | ipv6
ipaddr}| dmac mac-addr | dstindex index-value | ethertype ethertype | interface interface |
smac smac | source-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr} | srcindex index-value | vlan vlan-num]
| smac smac | source-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr} | srcindex index-value | vlan vlan-num]
```

## 構文の説明

<b>and-filter</b>	(任意) フィルタを適用します。
<b>destination-ip-address</b>	(任意) 宛先 IP アドレスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<i>ipaddr</i>	特定の宛先 IP アドレスへのパケットをキャプチャします。
<b>ipv6 ipaddr</b>	IPv6 宛先 IP アドレスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<b>dmac mac-addr</b>	(任意) 宛先 MAC アドレス インデックスと一致するパケットをキャプチャします。
<b>dstindex index-value</b>	(任意) 宛先インデックスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 1048575 です。
<b>ethertype ethertype</b>	(任意) ethertype に一致するすべてのパケットをキャプチャします。ethertype は 16 進形式で入力する必要があります。
<b>interface interface</b>	(任意) インターフェイスに関連するパケットをキャプチャします。「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>or-filter</b>	(任意) フィルタを適用します。
<b>rx</b>	(任意) 着信パケットだけをキャプチャします。
<b>dti-type value</b>	(任意) 3 ビット DTI タイプに一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 7 です。
<b>dti-value value</b>	(任意) 21 ビット DTI 値に一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 4096 です。
<b>smac smac</b>	(任意) 送信元 MAC アドレスと一致するパケットをキャプチャします。smac は 16 進形式で入力する必要があります。

<b>source-ip-addr ess</b>	(任意) 送信元 IP アドレスと一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<b>srcindex index-value</b>	(任意) 送信元インデックスと一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 1048575 です。
<b>vlan vlan-num</b>	(任意) VLAN 番号と一致するパケットをキャプチャします。有効な VLAN 番号は 0 ~ 4095 です。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

**使用上のガイドライン** 次のインターフェイス タイプを使用できます。

- Async
- 自動テンプレート
- CTunnel
- ダイアラ
- EsconPhy
- Fcpa
- フィルタ
- Filtergroup
- GMPLS
- GigabitEthernet
- Group-Async
- LISP
- LongReachEthernet
- ループバック
- Lspvif
- MFR
- マルチリンク
- スル
- ポート チャネル
- Sysclock
- TenGigabitEthernet
- トンネル

- Vif
- 仮想イーサネット
- 仮想テンプレート
- 仮想トークンリング
- VLAN
- VoaBypassIn
- VoaBypassOut
- VoaFilterIn
- VoaFilterOut
- VoaIn
- VoaOut

**例**

次の例では、NetDriver をデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr capture
```

```
Router#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャ バッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr capture destination-ip-address

宛先 IP アドレスが一致するすべてのパケットをキャプチャする NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture destination-ip-address** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**debug netdr capture destination-ip-address** {*ipaddr* | **ipv6** *ipaddr*}

**no debug netdr capture destination-ip-address** {*ipaddr* | **ipv6** *ipaddr*}

## 構文の説明

<i>ipaddr</i>	特定の宛先 IP アドレスへのパケットをキャプチャします。
<b>ipv6</b> <i>ipaddr</i>	IPv6 宛先 IP アドレスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。

## デフォルト

なし

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## コマンド モード

特権 EXEC

## 例

次の例では、NetDriver をデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr capture
```

```
Router#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャ バッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr capture dmac

すべての一致する宛先 MAC アドレスをキャプチャすることで NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture dmac** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**debug netdr capture dmac** [*mac-addr*]

**no debug netdr capture dmac** [*mac-addr*]

## 構文の説明

*mac-addr* (任意) 宛先 MAC アドレス インデックスと一致するパケットをキャプチャします。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## 例

次の例では、NetDriver をデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr capture
```

```
Router#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。

コマンド	説明
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャバッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr capture dstindex

宛先インデックスが一致するすべてのパケットをキャプチャする NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture dstindex** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**debug netdr capture dstindex** [*index-value*]

**no debug netdr capture dstindex** [*index-value*]

<b>構文の説明</b>	<i>index-value</i>	(任意) 宛先インデックスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 1048575 です。
--------------	--------------------	---

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンドモード</b>	特権 EXEC
----------------	---------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

**例** 次の例では、NetDriver をデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr capture
```

```
Router#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
	<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
	<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
	<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
	<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
	<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
	<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
	<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
	<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
	<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
	<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。

コマンド	説明
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャバッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。



# debug netdr capture ethertype

NetDriver キャプチャ ethertype アクティビティをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture ethertype** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**debug netdr capture ethertype** [*ethertype*]

**no debug netdr capture ethertype** [*ethertype*]

## 構文の説明

*ethertype* (任意) ethertype に一致するすべてのパケットをキャプチャします。ethertype は 16 進形式で入力する必要があります。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## 例

次の例では、NetDriver ethertype をデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr capture ethertype
```

```
Router#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。

コマンド	説明
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャ バッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr capture interface

NetDriver キャプチャ インターフェイス アクティビティをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture interface** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**debug netdr capture interface** [*interface*]

**no debug netdr capture interface** [*interface*]

## 構文の説明

*interface* (任意) インターフェイスに関連するパケットをキャプチャします。「使用上のガイドライン」を参照してください。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## 使用上のガイドライン

次のインターフェイス タイプを使用できます。

- Async
- 自動テンプレート
- CTunnel
- ダイアラ
- EsconPhy
- Fcpa
- フィルタ
- Filtergroup
- GMPLS
- GigabitEthernet
- Group-Async
- LISP
- LongReachEthernet
- ループバック
- Lspvif
- MFR
- マルチリンク

- ヌル
- ポート チャンネル
- Sysclock
- TenGigabitEthernet
- トンネル
- Vif
- 仮想イーサネット
- 仮想テンプレート
- 仮想トークンリング
- VLAN
- VoaBypassIn
- VoaBypassOut
- VoaFilterIn
- VoaFilterOut
- VoaIn
- VoaOut

**例**

次の例では、NetDriver インターフェイス アクティビティをデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr capture interface
```

```
Router#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。

コマンド	説明
<code>debug netdr capture vlan</code>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<code>debug netdr clear-capture</code>	キャプチャ バッファをクリアします。
<code>debug netdr copy-captured</code>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr capture or-filter

NetDriver キャプチャ アクティビティを **or** 機能を使用してデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture or-filter** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug netdr capture or-filter [destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}| dmac mac-addr |
dstindex index-value | ethertype ethertype | interface interface | smac smac |
source-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}| srcindex index-value | vlan vlan-num]
```

```
no debug netdr capture or-filter [destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}| dmac mac-addr
| dstindex index-value | ethertype ethertype | interface interface | smac smac |
source-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}| srcindex index-value | vlan vlan-num]
```

## 構文の説明

<b>destination-ip-address</b>	(任意) 宛先 IP アドレスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<i>ipaddr</i>	特定の宛先 IP アドレスへのパケットをキャプチャします。
<b>ipv6 ipaddr</b>	IPv6 宛先 IP アドレスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<b>dmac mac-addr</b>	(任意) 宛先 MAC アドレス インデックスと一致するパケットをキャプチャします。
<b>dstindex index-value</b>	(任意) 宛先インデックスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 1048575 です。
<b>ethertype ethertype</b>	(任意) ethertype に一致するすべてのパケットをキャプチャします。ethertype は 16 進形式で入力する必要があります。
<b>interface interface</b>	(任意) インターフェイスに関連するパケットをキャプチャします。「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>smac smac</b>	(任意) 送信元 MAC アドレスと一致するパケットをキャプチャします。smac は 16 進形式で入力する必要があります。
<b>source-ip-address</b>	(任意) 送信元 IP アドレスと一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<b>srcindex index-value</b>	(任意) 送信元インデックスと一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 1048575 です。
<b>vlan vlan-num</b>	(任意) VLAN 番号と一致するパケットをキャプチャします。有効な VLAN 番号は 0 ~ 4095 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## 使用上のガイドライン

次のインターフェイス タイプを使用できます。

- Async
- 自動テンプレート
- CTunnel
- ダイアラ
- EsconPhy
- Fcpa
- フィルタ
- Filtergroup
- GMPLS
- GigabitEthernet
- Group-Async
- LISP
- LongReachEthernet
- ループバック
- Lspvif
- MFR
- マルチリンク
- ヌル
- ポート チャンネル
- Sysclock
- TenGigabitEthernet
- トンネル
- Vif
- 仮想イーサネット
- 仮想テンプレート
- 仮想トークンリング
- VLAN
- VoaBypassIn
- VoaBypassOut
- VoaFilterIn
- VoaFilterOut
- VoaIn
- VoaOut

**例**

次の例では、NetDriver or-filter をデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr capture or-filter
```

```
Router#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャ バッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。



# debug netdr capture rx

着信パケットだけをキャプチャして NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture rx** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**debug netdr capture rx** [*dti-type value* | *dti-value value*]

**no debug netdr capture rx** [*dti-type value* | *dti-value value*]

## 構文の説明

<b>dti-type value</b>	(任意) 3 ビット DTI タイプに一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 7 です。
<b>dti-value value</b>	(任意) 21 ビット DTI 値に一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 4096 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## 例

次の例では、NetDrivers 着信パケットをデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr capture rx
```

```
Router#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。

コマンド	説明
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャバッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr capture smac

一致する送信元 MAC アドレスをキャプチャすることで NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture smac** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug netdr capture smac [smac]
```

```
no debug netdr capture smac [smac]
```

<b>構文の説明</b>	<i>smac</i>	(任意) 送信元 MAC アドレスと一致するパケットをキャプチャします。 smac は 16 進形式で入力する必要があります。
--------------	-------------	--

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンドモード</b>	特権 EXEC
----------------	---------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

<b>例</b>	<p>次の例では、送信元 MAC アドレスをキャプチャして NetDriver をデバッグする方法を示します。</p> <pre>Router# debug netdr capture smac</pre> <pre>Router#</pre>
----------	--

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
	<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
	<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
	<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
	<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
	<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
	<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
	<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
	<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
	<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
	<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。

コマンド	説明
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャバッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr capture source-ip-address

送信元 IP アドレスが一致するすべてのパケットをキャプチャすることで NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture source-ip-address** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug netdr capture source-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}
```

```
no debug netdr capture source-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr}
```

## 構文の説明

<i>ipaddr</i>	特定の宛先 IP アドレスへのパケットをキャプチャします。
<i>ipv6 ipaddr</i>	IPv6 宛先 IP アドレスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## 例

次に、NetDriver 送信元 IP アドレスをデバッグする例を示します。

```
Router# debug netdr capture source-ip-address
```

```
Router#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。

コマンド	説明
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャバッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr capture srcindex

送信元インデックスが一致するすべてのパケットをキャプチャすることで NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture srcindex** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**debug netdr capture srcindex** [*index-value*]

**no debug netdr capture srcindex** [*index-value*]

## 構文の説明

*index-value* (任意) 送信元インデックスと一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 1048575 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## 例

次に、送信元インデックスに一致するすべてのパケットをキャプチャして NetDriver をデバッグする例を示します。

```
Router# debug netdr capture srcindex
```

```
Router#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。

コマンド	説明
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャ バッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。



# debug netdr capture tx

発信パケットだけをキャプチャして NetDriver キャプチャのアクティビティをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture tx** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug netdr capture tx [and-filter | destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr} | dmac
mac-addr | dstindex index-value | ethertype ethertype | interface interface | or-filter
[destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr} | smac smac | source-ip-address {ipaddr | ipv6
ipaddr} | srcindex index-value | vlan vlan-num]
```

```
no debug netdr capture tx [andand-filter | destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr} | dmac
mac-addr | dstindex index-value | ethertype ethertype | interface interface | or-filter
[destination-ip-address {ipaddr | ipv6 ipaddr} | smac smac | source-ip-address {ipaddr | ipv6
ipaddr} | srcindex index-value | vlan vlan-num]
```

## 構文の説明

<b>and-filter</b>	(任意) すべての追加フィルタをキャプチャします。
<b>destination-ip-address</b>	(任意) 宛先 IP アドレスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<i>ipaddr</i>	特定の宛先 IP アドレスへのパケットをキャプチャします。
<b>ipv6 ipaddr</b>	IPv6 宛先 IP アドレスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<b>dmac mac-addr</b>	(任意) 宛先 MAC アドレス インデックスと一致するパケットをキャプチャします。
<b>dstindex index-value</b>	(任意) 宛先インデックスに一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 1048575 です。
<b>ethertype ethertype</b>	(任意) ethertype に一致するすべてのパケットをキャプチャします。ethertype は 16 進形式で入力する必要があります。
<b>interface interface</b>	(任意) インターフェイスに関連するパケットをキャプチャします。「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>or-filter</b>	(任意) フィルタを適用します。
<b>smac smac</b>	(任意) 送信元 MAC アドレスと一致するパケットをキャプチャします。smac は 16 進形式で入力する必要があります。
<b>source-ip-address</b>	(任意) 送信元 IP アドレスと一致するすべてのパケットをキャプチャします。
<b>srcindex index-value</b>	(任意) 送信元インデックスと一致するすべてのパケットをキャプチャします。有効な値は 0 ~ 1048575 です。
<b>vlan vlan-num</b>	(任意) VLAN 番号と一致するパケットをキャプチャします。有効な VLAN 番号は 0 ~ 4095 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## 使用上のガイドライン

次のインターフェイス タイプを使用できます。

- Async
- 自動テンプレート
- CTunnel
- ダイアラ
- EsconPhy
- Fcpa
- フィルタ
- Filtergroup
- GMPLS
- GigabitEthernet
- Group-Async
- LISP
- LongReachEthernet
- ループバック
- Lspvif
- MFR
- マルチリンク
- ヌル
- ポート チャネル
- Sysclock
- TenGigabitEthernet
- トンネル
- Vif
- 仮想イーサネット
- 仮想テンプレート
- 仮想トークンリング
- VLAN
- VoaBypassIn
- VoaBypassOut
- VoaFilterIn
- VoaFilterOut
- Voain

- VoaOut

**例**

次の例では、NetDriver をデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr capture tx
```

```
Router#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャ バッファをクリアします。
<b>debug netdr copy-captured</b>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr capture vlan

特定の VLAN 番号と一致するパケットをキャプチャして NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug netdr capture vlan** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug netdr capture vlan [vlan-num]
```

```
no debug netdr capture vlan [vlan-num]
```

## 構文の説明

<i>vlan-num</i>	(任意) VLAN 番号と一致するパケットをキャプチャします。有効な VLAN 番号は 0 ~ 4095 です。
-----------------	--

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## 例

次に、特定の VLAN 番号と一致するパケットをキャプチャして NetDriver をデバッグする例を示します。

```
Router# debug netdr capture vlan 10
```

```
Router#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。

コマンド	説明
<code>debug netdr capture smac</code>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<code>debug netdr capture source-ip-address</code>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<code>debug netdr capture srcindex</code>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<code>debug netdr capture tx</code>	発信パケットだけをデバッグします。
<code>debug netdr clear-capture</code>	キャプチャ バッファをクリアします。
<code>debug netdr copy-captured</code>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr clear-capture

キャプチャ バッファをクリアするには、特権 EXEC モードで **debug netdr clear-capture** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**debug netdr clear-capture**

**no debug netdr clear-capture**

## 構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## 例

次の例では、NetDriver をデバッグする方法を示します。

```
Router# debug netdr clear-capture
```

```
Router#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。

コマンド	説明
<code>debug netdr capture srcindex</code>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<code>debug netdr capture tx</code>	発信パケットだけをデバッグします。
<code>debug netdr capture vlan</code>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<code>debug netdr copy-captured</code>	ファイルにパケットをコピーします。

# debug netdr copy-captured

キャプチャされたパケットをファイルに保存するには、特権 EXEC モードで **debug netdr copy-captured** コマンドを使用します。デバッグ出力をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**debug netdr copy-captured**

**no debug netdr copy-captured**

## 構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	Cisco 7600 シリーズ ルータ におけるこのコマンドのサポートが、12.1 E リリースまで拡張されました。

## 使用上のガイドライン

キャプチャされたファイルは次のソースにコピーできます：

- bootdisk:
- const\_nvram:
- dfc#2-bootflash:
- dfc#3-bootflash:
- disk0:
- ftp:
- http:
- https:
- image:
- null:
- nvram:
- rcp:
- scp:
- syslog:
- tftp:
- tmpsys:

## 例

次の例では、NetDriver のコピーしたパケットをデバッグする方法を示します。



```
Router# debug netdr copy-captured
```

```
Router#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug netdr capture</b>	NetDriver キャプチャ アクティビティをデバッグします。
<b>debug netdr capture and-filter</b>	追加フィルタをデバッグします。
<b>debug netdr capture continuous</b>	netdr を継続的にデバッグします。
<b>debug netdr capture destination-ip-address</b>	すべての一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dmac</b>	一致する宛先パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture dstindex</b>	宛先インデックスと一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture ethertype</b>	ethertype の一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture interface</b>	インターフェイスに関連するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture or-filter</b>	or-filter 機能パケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture rx</b>	着信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture smac</b>	送信元 MAC アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture source-ip-address</b>	送信元 IP アドレスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture srcindex</b>	送信元インデックスが一致するパケットをデバッグします。
<b>debug netdr capture tx</b>	発信パケットだけをデバッグします。
<b>debug netdr capture vlan</b>	特定の VLAN のパケットをデバッグします。
<b>debug netdr clear-capture</b>	キャプチャ バッファをクリアします。

# lldp run

受信された LLDP 制御パケットの処理をイネーブルにし、デフォルトまたは設定された TLV の LLDP パケットの送信をイネーブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **lldp run** コマンドを使用します。

## lldp run

### 構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

### デフォルト

LLDP はディセーブルです。

### コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXJ	このコマンドがサポートされるようになりました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを設定すると、スイッチで LLDP プロトコルがイネーブルになります。これを設定解除すると、スイッチからの LLDP プロトコル パケットの処理または送信がディセーブルになります。

### 例

次に、スイッチで LLDP をイネーブルにする例を示します。

```
Switch(config)# lldp run
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>lldp tlv-select power-management</b>	LLDP を介した電力ネゴシエーションをイネーブルにします。

# lldp tlv-select power-management

LLDP を介した電力ネゴシエーションをイネーブルにするには、**lldp tlv-select power-management** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。

## lldp tlv-select power-management

### 構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

### デフォルト

POEP ポート上でイネーブルになります。

### コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXJ	このコマンドがサポートされるようになりました。

### 使用上のガイドライン

LLDP によって電力ネゴシエーションを実行しない場合は、この機能をディセーブルにする必要があります。

この機能は、POEP 以外のポートではサポートされていません。このようなポートで CLI は抑制され、TLV は交換されません。

### 例

次に、インターフェイスのギガビット イーサネット 3/1 上で LLDP 電力ネゴシエーションをイネーブルにする例を示します。

```
Switch# configuration t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# interface gigabitethernet 3/1
Switch(config-if)# lldp tlv-select power-management
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
lldp run	受信された LLDP 制御パケットの処理を有効にし、デフォルトまたは設定された LLDP TLV のパケット送信をイネーブルにします。

# mls acl tcam share-acl

ACL の共有をイネーブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **mls acl tcam share-acl** コマンドを使用します。グローバルなデフォルトの共有をオフに切り替えるには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**mls acl tcam share-acl**

**no mls acl tcam share-acl**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

イネーブル

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXH	このコマンドがサポートされるようになりました。

## 使用上のガイドライン

DFC の電源を再投入する場合、異なる DFC の ACL 全体ですべての DFC をリセットするよう推奨します。

## 例

次に、ACL の共有をイネーブルにする例を示します。

```
Router(config)# mls acl tcam share-acl
```

# platform system-controller reset-threshold

システムコントローラリセットのしきい値を設定するには、**platform system-controller reset-threshold** コマンドを使用します。

```
platform system-controller reset threshold {threshold-num}
```

## 構文の説明

*threshold-num* しきい値リセット番号を指定します。有効値は 1 ~ 100 です。

## デフォルト

システムコントローラのリセットは、1 に設定されます。

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXJ4	このコマンドがサポートされるようになりました。
12.2(33)SXII0	このコマンドがサポートされるようになりました。

## 使用上のガイドライン

冗長スーパーバイザエンジンがあり、かつ TM\_DATA\_PARITY\_ERROR、TM\_LINK\_ERR\_INBAND、TM\_NPP\_PARITY\_ERROR エラーが発生した場合、影響を受けたスーパーバイザエンジンはリロードされます。冗長スーパーバイザエンジンがなく、かつ TM\_DATA\_PARITY\_ERROR、TM\_LINK\_ERR\_INBAND、TM\_NPP\_PARITY\_ERROR エラーが発生した場合、次のいずれかが発生します。

- システムコントローラリセットのしきい値に達していない場合、システムコントローラ ASIC がリセットされます。
- システムコントローラリセットのしきい値に達した場合、スーパーバイザエンジンがリロードされます。

しきい値に達していない場合、これらのシステムメッセージが表示されます。

```
%SYSTEM_CONTROLLER-<>-THRESHOLD
%SYSTEM_CONTROLLER-<>-ERROR
%SYSTEM_CONTROLLER-<>-MISTRAL_RESET
```

しきい値に達した場合、これらのシステムメッセージが表示されます。

```
%SYSTEM_CONTROLLER-<>-ERROR
%SYSTEM_CONTROLLER-<>-FATAL
```

## 例

次に、システムコントローラリセットのしきい値を 55 に設定する例を示します。

```
Router(config)# platform system-controller reset-threshold 55
```

# show platform hardware cef tcam

プラットフォーム ハードウェア Cisco Express Forwarding (CEF) Forwarding Information Base (FIB) Ternary Content Addressable Memory (TCAM) を表示するには、**show platform hardware cef** コマンドを使用します。

```
show platform hardware cef tcam {ecc [detail [earl earl-id] | module module-num] | earl earl-id] |
  module module-num] | hit [detail [earl earl-id] | module module-num] | earl earl-id] | module
  module-num] | keys [count | exception ] | memory usage | segment [detail [earl earl-id] |
  module module-num] | earl earl-id] | module module-num] | select [detail [earl earl-id] | module
  module-num] | earl earl-id] | module module-num] | shadow [detail [earl earl-id] | module
  module-num] | earl earl-id] | module module-num] | timing [detail [earl earl-id] | module
  module-num] | earl earl-id] | module module-num] | utilization [detail [earl earl-id] | module
  module-num] | earl earl-id] | module module-num] | earl earl-id] | module module-num]
```

## 構文の説明

<b>ecc</b>	Error Checking and Correction (ECC) 情報を表示します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細情報を表示します。
<b>earl earl-id</b>	(任意) earl-id の内容を表示します。
<b>module module-num</b>	(任意) 特定のモジュールの情報を表示します。
<b>hit</b>	FIB TCAM 情報の最後のヒットを表示します。
<b>keys</b>	キー情報を表示します。
<b>count</b>	(任意) キー カウント情報を表示します。
<b>exception</b>	(任意) キー例外の情報を表示します。
<b>memory usage</b>	メモリ使用量を表示します。
<b>segment</b>	セグメントの分布を表示します。
<b>select</b>	ビット選択情報を表示します。
<b>shadow</b>	シャドウ コピーを表示します。
<b>timing</b>	タイミングの使用状況を表示します。
<b>utilization</b>	セグメントの使用状況を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

特権 EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	このコマンドがサポートされるようになりました。

## 例

次に、ハードウェア CEF TCAM キーの例外を表示する例を示します。

```
Router(config)# show platform hardware cef tcam keys exception
Priorities in exception:
Class          ID  Pri (>=)  Max  Key-Cnt  Pri-Cnt
-----
IPv4           0   16         35   35085
```

IPv4-Mcast	1	68	68	0
MPLS	2	17	17	0
EOMPLS	3	19	19	0
MPLS-VPN	4	9	9	0
Diags	5	5	5	0
IPv6-Local	6	390	390	0
IPv6-Mcast	7	261	261	0
IPv6-Global	8	244	390	1051
VPLSv4-Mcast	9	69	69	0
VPLSv6-Mcast	10	261	261	0

Keys in each Pri in exception:

Class	ID	Pri	XCP	Pri-Cnt
IPv4	0	16		4096
.	.	17		15507
.	.	18		7753
.	.	19		3876
.	.	20		1939
.	.	21		969
.	.	22		484
.	.	23		243
.	.	24		121
.	.	25		60
.	.	26		34
.	.	30		2
.	.	34		1
IPv6-Global	8	244		129
.	.	245		126
.	.	246		118
.	.	247		114
.	.	248		111
.	.	249		109
.	.	250		109
.	.	251		107
.	.	252		64
.	.	253		32
.	.	254		16
.	.	255		8
.	.	256		4
.	.	257		2
.	.	389		1
.	.	390		1

Spanslogic#show platform hardware cef tcam memory usage

Buffer allocation summary:

Id	Data Size	Page Size	Total Count	Total Size	Used Count	Used Size	Free Count	Free Size	Type
0	0	0	0	0	0	0	0	0	Void
1	80	80	0	0	0	0	0	0	Bsort
2	2076	65536	279	576K	0	0	279	565K	Bsort Node
3	3456	65536	288	1.00M	20	39744	268	904K	Bsort Stat
4	60	65536	2184	128K	1697	99.4K	487	29220	Wsort Seg
5	104	65536	630	65536	17	1768	613	63752	Wsort Win
6	1024	65536	384	384K	17	17408	367	367K	Wsort Avail
7	3644	3644	3	10932	3	10932	0	0	Group
8	324	8192	25	8192	20	6480	5	1620	Group Entry
9	0	0	2	20480	2	20480	0	0	SE Block
10	4104	65536	3660	15.2M	2814	11.1M	846	3.31M	SE Slice
11	52	65536	2520	128K	1697	88244	823	42796	SE Seg
12	68	65536	18297	1.18M	0	0	18297	1.18M	SE Rec
13	0	0	0	0	0	0	0	0	SE Pri
14	48	65536	619k	28.3M	587k	26.8M	32320	1.47M	Key
15	8	65536	0	0	0	0	0	0	Bit 64
16	12	65536	1.20m	13.7M	1.13m	13.2M	63352	742K	Bit 96
17	16	65536	0	0	0	0	0	0	Bit 128
18	20	65536	39312	768K	36634	715K	2678	53560	Bit 160
19	24	24	0	0	0	0	0	0	Bit 192
20	28	28	0	0	0	0	0	0	Bit 224
21	32	65536	8192	256K	5628	175K	2564	82048	Bit 256
22	36	65536	0	0	0	0	0	0	Bit 288
23	40	65536	1638	65536	98	3920	1540	61600	Bit 320
24	44	44	0	0	0	0	0	0	Bit 352
25	48	48	0	0	0	0	0	0	Bit 384
26	52	52	0	0	0	0	0	0	Bit 416
27	56	56	0	0	0	0	0	0	Bit 448
28	60	65536	0	0	0	0	0	0	Bit 480
29	64	64	0	0	0	0	0	0	Bit 512
30	68	68	0	0	0	0	0	0	Bit 544
31	72	72	0	0	0	0	0	0	Bit 576
32	76	76	0	0	0	0	0	0	Bit 608
33	80	65536	0	0	0	0	0	0	Bit 640
34	84	84	0	0	0	0	0	0	Bit 672
35	88	88	0	0	0	0	0	0	Bit 704
*	*	*	1.89m	61.9M	1.77m	52.7M	124k	8.81M	Total

Router(config)#



次に、ハードウェア CEF TCAM タイミング情報を表示する例を示します。

```
Router(config)# show platform hardware cef tcam timing
(0) Groom Clock: 182us (Min) << 71ms (Avg) << 404ms (Max) = 09.19s (Tot)
  5.28ms   1.16ms   10ms    38ms    3.43ms  10ms    166ms   223ms
  5.06ms   960us    9.34ms  37ms    1.79ms  96ms    110ms   155ms
  4.72ms   1.06ms   8.90ms  34ms    813us   4.14ms  110ms   138ms
  4.12ms   755us    6.81ms  32ms    305us   75ms    28ms    237ms
  3.90ms   690us    6.13ms  30ms    228us   50ms    247ms   199ms
  3.67ms   529us    5.81ms  28ms    274us   94ms    217ms   63ms
  3.38ms   506us    3.68ms  25ms    1.73ms  269ms   218ms   96ms
  3.14ms   400us    2.94ms  23ms    279us   119ms   277ms   66ms
  2.94ms   351us    3.63ms  20ms    115ms   163ms   346ms   94ms
  2.87ms   306us    2.75ms  18ms    46ms    404ms   316ms   35ms
  2.76ms   291us    1.18ms  16ms    156ms   351ms   154ms   84ms
  3.30ms   275us    794us   13ms    87ms    319ms   220ms   5.51ms
  5.20ms   202us    736us   11ms    8.52ms  85ms    220ms   203ms
  2.77ms   190us    39ms    9.58ms  112ms   229ms   189ms   191ms
  1.58ms   182us    39ms    7.52ms  73ms    180ms   172ms   216ms
  1.84ms   11ms     38ms    5.63ms  90ms    188ms   227ms   1.27ms
```

```
(1) Add Clock: 11us (Min) << 13us (Avg) << 107us (Max) = 1.78ms (Tot)
  11us     11us     11us     12us     11us     12us     12us     12us
  11us     12us     12us     11us     11us     11us     11us     12us
  12us     11us     12us     12us     11us     12us     12us     12us
  12us     12us     12us     12us     11us     12us     12us     13us
  11us     12us     12us     12us     11us     11us     11us     12us
  12us     12us     12us     12us     11us     12us     12us     12us
  12us     12us     11us     12us     11us     11us     11us     12us
  11us     11us     12us     11us     11us     12us     12us     12us
  11us     12us     11us     11us     11us     12us     11us     11us
  12us     12us     12us     11us     11us     11us     11us     40us
  107us    12us     12us     12us     12us     12us     12us     41us
  12us     11us     11us     12us     12us     12us     11us     40us
  12us     12us     11us     12us     12us     11us     11us     40us
  11us     11us     12us     12us     12us     12us     11us     40us
  12us     12us     12us     12us     12us     11us     12us     40us
  12us     12us     11us     11us     11us     12us     12us     40us
```

```
Router(config)#
```

次に、ハードウェア CEF TCAM 使用率情報を表示する例を示します。

```
Router(config)# show platform hardware cef tcam utilization
Util summary for Pool 0: 524288 keys, 1024 segs, 36 Mb
```

Type	KeyCnt	KeyUse	SegCnt	SegUse	Util	Free
0	463704	463704	909	909	99	115
1	0	0	0	0	0	115
2	0	0	0	0	0	57
3	0	0	0	0	0	29
4	0	0	0	0	0	28
Tot	463704	463704	909	909	99	115

Util summary for Pool 1: 524288 keys, 1024 segs, 36 Mb

Type	KeyCnt	KeyUse	SegCnt	SegUse	Util	Free
0	105327	105327	208	208	98	803
1	9	18	7	7	0	803
2	46	184	3	6	5	391
3	0	0	0	0	0	191
4	0	0	0	0	0	189
Tot	105382	105529	218	221	93	803

Util summary for Pool 8: 1048576 keys, 2048 segs, 72 Mb

Type	KeyCnt	KeyUse	SegCnt	SegUse	Util	Free
0	569031	569031	1117	1117	99	918
1	9	18	7	7	0	918
2	46	184	3	6	5	448
3	0	0	0	0	0	220
4	0	0	0	0	0	217
Tot	569086	569233	1127	1130	98	918

関連コマンド

コマンド	説明
<b>clear platform hardware cef adjacencies</b>	プラットフォームハードウェアのCEF隣接関係をクリアします。

# snmp-server enable traps fru-control

CISCO-ENTITY-FRU-CONTROL-MIB の簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知をイネーブルにするには (トラップおよびインフォーム)、特権 EXEC モードで **snmp-server enable traps fru-control** コマンドを使用します。CISCO-ENTITY-SENSOR-MIB をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**snmp-server enable traps fru-control**

**no snmp-server enable traps fru-control**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

このコマンドには、デフォルトはありません。

## コマンドモード

特権 EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(1)SX	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、CISCO-ENTITY-FRU-CONTROL-MIB MIB をイネーブルにする例を示します。

```
Switch# snmp-server enable traps fru-control
Switch#
```

次に、CISCO-ENTITY-FRU-CONTROL-MIB MIB をディセーブルにする例を示します。

```
Switch# no snmp-server enable traps fru-control
Switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>snmp-server enable traps module</b>	CISCO-STACK-MIB の簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知をイネーブルにします。

# snmp-server enable traps module

CISCO-STACK-MIB の簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知をイネーブルにするには (トランプおよびインフォーム)、特権 EXEC モードで **snmp-server enable traps module** コマンドを使用します。CISCO-STACK-MIB をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**snmp-server enable traps module**

**no snmp-server enable traps module**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

このコマンドには、デフォルトはありません。

## コマンドモード

特権 EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(1)SX	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、CISCO-STACK-MIB MIB をイネーブルにする例を示します。

```
Router# snmp-server enable traps module
Router#
```

次に、CISCO-STACK-MIB MIB をディセーブルにする例を示します。

```
Router# no snmp-server enable traps module
Router#
```

コマンド	説明
<b>snmp-server enable traps fru-control</b>	CISCO-ENTITY-FRU-CONTROL-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知をイネーブルにします。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>